



脇本 尚憲 議員

### 特殊詐欺対策は

Q 本町を管轄している田辺署管内での特殊詐欺被害の認知件数は。

A 脇本総務課長

平成31年1月から令和元年12月までの被害件数は11件で、被害総額は855万7千円。本町内での被害数は1件、被害額50万円。

Q 詐欺手口と件数は。

A 脇本総務課長

警察官や企業を名乗る者からの固定電話で

の被害が8件。メールが2件。詐欺サイトへのアクセス被害1件。

Q 被害未遂件数は。

A 脇本総務課長

警察が認知している件数としては、固定電話89件。メール18件。郵便7件。詐欺サイトへのアクセス1件。計115件。

Q 近隣自治体の特殊詐欺予防対策の取組状況は。

近隣自治体の特殊詐欺予防対策の取組状況は。

A 脇本総務課長

城陽市、京田辺市、木津川市、宇治田原町は本町同様、ホームページや広報紙にて注意喚起されている。さらに京田辺市では特殊詐欺被害を受けやすい65歳以上の高齢者を対象



詐欺被害対策に防犯機能付き電話の活用を

に、特殊詐欺対策電話機の購入に対し5000円を上限とした補助事業を実施されており、綴喜防犯協会においても同様の機器購入に際し、2000円を上限とした補助事業を実施されている。

Q 特殊詐欺被害にあわないための予防対策の考えは。

A 脇本総務課長

田辺警察署によると、特殊詐欺対策電話機等は非常に効果的であるとのことから活用も踏まえ、警察とも協議しながら検討していく。

### コロナ禍の介護予防対策は

Q コロナ禍で地域行事が相次いで延期、中止になっている。高齢者が自宅で閉じこもりになり身体機能や認知機能の低下、

や認知機能の低下、

A 寺井高齢福祉課長

事業が実施できるよう、3密の回避を徹底する手引書を作成し、配布するなどの対策を進め、3月から休止していた介護予防教室などを7月から再開できた。

Q 開催回数と参加者の推移は。

A 寺井高齢福祉課長

各種事業は、3密を避けるため定員制限を設け2グループに分けて実施していることで回数はほぼ前年度と同様であるが参加者は減



ご自身のペースでコロナ禍でも介護予防対策を

少している。7月開催時の参加者は123名と前年度同月より41名減少していたが、10月開催時には前年度並みの実績となっている。自宅にいながらホームページやSNSを活用した介護予防体操動画の取り組みは。また認知予防の対策は。家庭内で安全に運動ができるチラシを作成し4月と10月の広報いでと合わせて全戸配布した。また、そのチラシを活用して、脳トレ教室ひまわりにおいても介護予防の指導に取り組んでいる。さらに認知症予防のためのクイズや体操などの写真を掲載するとともに、11月にはホームページでフレイルに対する正しい知識や予防方法等の記事を掲載してきた。



中坊 陽 議員

### 町内保育園の運営は

**Q** 町内の保育園の運営方針は。

**A** 野崎住民福祉課長

良質・適切な保育の提供で、すべての子どもが健やかな成長をめざしている。

**Q** 3保育園のそれぞれの特徴は。

**A** 野崎住民福祉課長

玉川保育園は昭和28年度に開設。0歳から5歳の全年齢で、大人数での社会性・協調性

など生きる力を育む。

多賀保育園は昭和47年度に開設。少人数ならではの一人ひとりに寄り添った保育を行っている。

いづみ保育園は昭和51年に開設。1歳から3歳の乳児の園で、一人ひとりを大切にする保育をしている。

**Q** 今後の保育園統合についての考えは。

**A** 汐見町長

住民の利便性を考え、

各地区に保育園を設置している。家庭環境に合わせた一人ひとりに行き届いた保育サービスや相談機能充実が求められている。

利用者は減少しているが、現時点で集团的保育環境や保育の質が維持できないという状況ではないので、引き続き現在の施設を運営していく。



0才～5才児を保育する玉川保育園

### 府立支援学校周辺整備は

**Q** 支援学校の周辺は

農業振興地域であるが、整備して教育機関を誘致できないか。土地利

用について地権者の意向調査をする考えは。

**A** 花木企画財政課長

これまで国や府に、福祉・教育施設の誘致を要望してきた成果がこの支援学校である。支援学校へのアクセス道路整備に合わせて土地利用の検討を進める。

**Q** 町道29号線から南進する新設道路の進捗状況は。

**A** 西岡建設課長

計画決定に時間を要したが、現在、境界確定作業しており、年度内には用地買収に着手していきたい。



耕作放棄地がある支援学校西側



岡田 久雄 議員

### さくら公園の活用は

Q さくら公園の遊具の安全点検・メンテナンス・河川敷緑地の草刈りは。

A 西岡建設課長

遊具は職員が安全点検し、メンテナンスや修理は専門業者が行っている。河川敷緑地は年2回業者による除草を行っている。

Q 河川敷緑地の利用ルールや路上駐車対策は。

A 西岡建設課長

「自由広場」であるが、井手町都市公園条例施行規則の主旨により、ごみ持ち帰り、たき火・バーベキューは禁止。

グラウンドゴルフ場駐車場を臨時駐車場として開放し、府道に駐車できないよう府にコンクリートブロックを設置してもらった。路上駐車禁止をホームページで知らせる。

Q さくら公園に名所案内地図を設置しては。

A 西岡建設課長

町内全体の観光振興を図るため、総合的に考え、内容を検討する。



人々で賑わう河川敷緑地

### コロナ禍での図書館運営は

Q 図書館事業運営にあたっての感染防止対策ガイドラインの内容は。

A 中坊社会教育課長

日本図書館協会のガ

イドラインを参考に、来館者の体温チェック、マスク着用、手指消毒、滞在時間をおおむね30分以内とし、視聴覚資料閲覧や自由席、インターネット端末は使用

停止、スリッパと返却図書消毒、館内換気を行っている。

のマジックショーやお話は中止した。イベントは密を避けて実施している。

Q 一日の利用状況やイベントの取り組みに変化はあるか。

Q 図書除菌機を導入しては。

A 中坊社会教育課長

A 中坊社会教育課長

自由来館再開後も、貸出人数は昨年比3割から6割減。

親子で楽しむ紙芝居や企画展示は再開している。出張貸出も再開しているが、保育園で

返却本すべての表紙を職員が消毒している。日常業務に支障をきたしていない作業なので図書除菌機導入は考えていない。

### 行政手続きの押印廃止は

Q 政府は行政手続きや税の書類で、押印を原則廃止するということだが、本町の行政文書でも何が連動して廃止できるか。

Q 廃止対象のリスト化など、本町の今後の取り組みは。

A 脇本総務課長

A 脇本総務課長

現在国交省から通知がきているが、これから各省庁で決定していくと想定されるので、

国や府からの通知に注視しながら、本町独自の行政手続きの洗い出しを順次行う。

**Q** 井手地区共同墓地の中腹に設置された水汲み場は、利用者から喜ばれているが、南側通路からは高低差があるため、大きく迂回が必要である。より多くの住民に利



山側中腹の水汲み場

## 井手墓地水汲み場に通路を



丸山久志議員

用してもらったため、アクセスする通路が必要ではないか。

### A 汐見町長

平成23年度に現在の山側中腹に水汲み場を追加設置した。

その後も南側墓地へ

も水汲み場の追加設置要望をお聞きしているが適地がない。

通路の整備について、可能なルートや構造の詳細な調査をし、周辺墓地使用者との調整をふまえ、前向きに検討したい。

## 保育園統合避けられない

**Q** 全国でも本町でも子どもの数が激減しているが、本町の人口規模で、はたして3つの保育園が必要か。

建物のメンテナンス・保育士の確保など様々な課題があるように思われる。

費用対効果だけで判断するわけにはいかないが、統合問題は避けて通れない課題である。見解は。

### A 汐見町長

私が町政を担っている間は、利便性に配慮し、一人ひとりに行き届いた保育サービスを提供するとともに、地域社会に開かれ、慣れ親しまれている施設として、現在の形態による運営を継続する。



多賀保育園



いづみ保育園



木村武壽 議員

### ふるさと納税 現状は

Q 一部の地方団体では、多額の税金を集め、有効に利用しているが、本町でのこれまでの実績と今後の課題は。

#### A 藤岡地域創生推進室長

制度導入以来、平成20年度から今年11月までの間に、延べ239人、総額493万3808円寄付があり、自然環境の保全、安心・安全なまちづくり、など4分野で寄付者の意向に沿った活用をしている。

当初は返礼品が1品、3人から4万2千円だったが、「ふるさとチョイス」などのポータルサイトの活用や返礼品の拡充、昨年は返礼品29品、85人から、総額151万8010円の寄付と実績を伸ばしている。

今年度は、山城産のお米や、鯖寿司、清水焼茶碗、木製時計など、返礼品を58品と増やし、前年同月を上回っている。今後は、井手町ふる

さと納税検討委員会の意見も伺いながら、商工会やJAなども連携し、広報媒体も活用

しつつ、本町の様々な魅力を発信することにより充実を図りたい。



ふるさと納税者に贈られる返礼品の一例

### 小・中学校 外国語教育は

#### Q グローバル化の進展する中、外国語によるコミュニケーション

能力向上が課題となる。

令和2年度から学習指導要領の全面実施に伴い、小学校3・4年生

に外国語活動、5・6

年生に外国語科が導入された。

現在の小・中学校の外国語教育の現状と取り組みは。

#### A 高江中学校教育課長

平成30年度より、小学校で新学習指導要領の授業時間数と内容を先行実施し、AETを2名に増員、小中連携教員を配置し、中学校

英語科教員が小学校の教員と研究を進めるなど、スムーズに新学習指導要領に移行できた。泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業で、流・海外派遣事業で、語学力向上と国際理解教育の充実を図り、英検チャレンジ推進事業では受検料補助を行い、今年度は3年生の半数以上が英検3級以上に合格している。



AETによる英語授業の様子



谷 田 みさお 議員

### 水道の低水圧対策は

Q 極端に水圧が弱い地域では生活に支障をきたしている。低水圧対策は。

A 中島上下水道課長

配水池の水位をできるだけ下げないよう調整することで改善が図れるか調査しよう。



多賀地区配水池

Q 抜本的な対策は。  
A 中島上下水道課長  
多賀地区簡易水道と井手地区上水道との統

合第一期計画において上井手配水池との高低差を利用し、安定供給が図れるように取り組む。

### 特定空き家の対応は

Q 町内では老朽化した空き家が多数存在している。  
現在の空き家実態調査は。

等、保安上著しく危険な状態と判断した場合は公告した後に略式代執行できるとされている。

A 藤岡地域創生推進室長

A 藤岡地域創生推進室長

平成28年度に13戸の特定空き家を抽出し、その後、指導、勧告を行い、解体や改修等の対応があり現在8戸となっている。

Q 所有者が確知されない場合の対処は。

A 藤岡地域創生推進室長

土地登記簿や建物登記、税務関係資料などから所有者を特定することができない場合、倒壊

Q 空き家等対策協議会の設置は。

A 藤岡地域創生推進室長

必要になった段階で設置する。

Q 空き家に対する苦

情への対応は。

A 藤岡地域創生推進室長  
空き家所有者などに

説明し対応を求める。苦情を寄せた方にもその結果をお伝えする。



老朽化した空き家

Q 空き家解体費用の助成の考えは。

A 藤岡地域創生推進室長

基本的には所有者が対応すべきものであり、解体費助成の導入は考えていない。

### 新型コロナウイルス感染症対策

Q 新型コロナウイルス感染症が拡大しないよう住民が希望すれば無料でPCR検査を受ける事はできないか。

A 寺井高齢福祉課長

町独自の対策として、

検査対象者を感染管理上必要な高齢者施設等の新規利用者等に範囲を設定している。検査対象の拡大は考えていない。



奥田俊夫議員

### 林道の整備は

山林の管理体制は。

**A** 菱本産業環境課長

現状としては臨時的な倒木、支障木等の除去などの維持管理を行っている。

またワタキューセイモア株式会社、他2社と森林の利用保全整備活動に関する協定を締結し森林保全活動を行っている。

**Q** 整備や維持管理に対する考えは。

**A** 菱本産業環境課長

随時のパトロールの他、通行者からの連絡があれば職員等により適宜対応している。

京都府の豊かな森を育てる府民税交付金等も活用していく。

**Q** 自転車等、道ではない箇所への立ち入りに関する規制は。

**A** 菱本産業環境課長

他市町村の事例や京都府等の関係機関の意

見も参考にしながら研究していきたい。

**Q** 町道・林道への注意喚起のための立て看板の設置の考えは。

**A** 菱本産業環境課長

現地調査を行い、設置箇所等について検討する。



林道の現状

### 通行規制看板の設置は

**Q** 多賀地区坂ノ下踏切より東側の町道について大型車両に対する法規制は。

**A** 脇本総務課長

法規制をするには車両の通行状況や道路管

理者との協議、地域住民の合意形成、う回路の確保などが必要であり、直ちに対応することは困難。

**Q** 看板設置の考えは。

**A** 脇本総務課長

幅員狭小等の注意喚起看板の設置は現状を確認しながら設置場所

等について警察と相談しながら対応していく。

**Q** 多賀市街地の大型車両、一般車両への注意喚起の看板の設置は。

**A** 脇本総務課長

京都府や警察とも協議しながら注意喚起看板の設置に向けて検討していく。



看板の設置が望まれる町道

## ● 井手町議会管外視察研修報告 ●

令和2年12月4日(金)に京都府南山城村を訪問し行政研修を行いました。

### 道の駅と地域の産業振興について

京都府南山城村「道の駅」を訪問し道の駅と地域の産業振興について積極的に取り組まれ注目されている自治体の視察を行いました。

議員	感想
奥田俊夫	準備に4年かかったと聞いた。下準備が大切だと思った。独自のブランドを開発していくことが大事。店舗販売だけでなく移動販売も重要。
脇本尚憲	道の駅のコンセプト(目的)をはっきりと定めて、単なる道の駅で終わるのではなく地域が抱える問題点が解決できるように商工会、行政、住民も巻き込んだ事業にしていけないと感じた。
谷田利一	開業までの苦勞が理解できた。開業にあたり各種許可に手間がかかる。バックヤードに大型の保存用冷凍ハウスが必要なことなど理解できた。
西島寛道	道の駅事業を計画的に進めるためにはまずは誰がやっていくのか覚悟をもった人を決定していかなければならない。買い物難民を救済できる宅配としての機能を持った道の駅が求められる。
岡田久雄	スタッフ集めにおいては販売の経験のある人、スキルアップを考えている人など何をするかによって人を集める人事が大事だと感じた。
丸山久志	開業までの準備が大変であり重要であると感じた。
中坊陽	人口減少、少子化、高齢化等本町の課題(解決に結びつくような整備運営)が大切であり災害時に使用できる施設としても求められている。
谷田みさお	運営・経営のノウハウについて「井手町にも積極的に提供したい」と話されていたのは心強い。成功例として参考にさせてもらったらいいのではないか。
木村武壽	道の駅の代表者の説明がよくわかった。特にバックヤードのことがわかった。





# いでたんが聞く



いでたん



中田邦和教育長

新米記者いでたんが町に出かけて、まちのこといろいろ聞いてみます。

今回は8月から教育長に就任された  
中田邦和さんにインタビューしました！

## これからの教育方針・個人的なこと、 いろいろ聞いてみました！



**まずは今までの経歴を教えてください。**

井手町に生まれ、井手小、泉ヶ丘中を卒業し城陽高校から京都教育大学へ進学し大学卒業後、泉ヶ丘中の教諭として赴任しました。

その後、井手小、泉ヶ丘中の校長などを務めました。定年退職後は学校教育指導主事として働いていました。

ずっと教育に携わる仕事をされていたんですね。



**教育に対して大切にしていることはなんですか？**

「誰も孤立させない。つながりを大切にしたい教育を続けたい」と思っています。



**教育長への打診があった時の率直な感想は？**

予想外のことに驚きましたが、生まれ育ったまちで教育長をさせてもらうことは大変光栄なことだと思っています。



**現在のコロナ禍の中での学校教育についてのお考えは。**

安全、安心を確保しながらも学びを保障し学力向上を継続しないといけないと思っています。



**教育長のことこっそり聞きました…**

- ・ 休日の過ごし方は？      スポーツ観戦／ウォーキング
- ・ 好きな食べ物は？      お好み焼き／カレーライス
- ・ 座右の銘は？      『心を込めて』
- ・ 好きな映画やドラマは？      冒険・探検をテーマにした映画やドラマ



**本町の学校教育の強みは何ですか？**

本町には保育園・小・中学校の先生たちが集い子ども達の教育を考える集まりがあります。40年以上の歴史があり中学生になっても保育園の頃のことも知ることができ、一人ひとりの背景までを理解し、育てていく温かく包み込むようなつながりは井手教育ならではの強みだと思います。



**社会教育についてはどのような考えをお持ちですか？**

小学生らが参加する本町の総合型地域スポーツクラブの「IDEゆうゆうスポーツクラブ」の立ち上げにも携わりました。社会教育についても現場を大切に推進していきたいと考えています。



**最後に教育長就任にあたり伝えたいことはありますか？**

教育を通したまちづくりを目指します。誰もがまちを愛し自慢できるような教育をしていきたいと思っています。

これからも本町の将来を担う子どもたちに熱血教育長として奮闘されることを期待しています！  
ご協力ありがとうございました。

### 議会広報編集委員会

委員長 脇本 尚憲    副委員長 丸山 久志    委員 谷田 みさお    委員 西島 寛道    委員 奥田 俊夫